

平成27年度(2015年度) 長野県蘇南高等学校 学校評価表

70 蘇南

学校目標

「**開拓者の精神を具現できることのできる学校**」という建学の精神に基づいて次の目標を定め、地域社会の期待にこたえることのできる人材の育成を目指す。

- ・自主的、自立的な生活態度を養い、自己の進路を切り拓く力をつける。
- ・青年らしい公明で誠実な生き方と豊かな社会性を身につける。
- ・学問と真理を愛し追求する力をつける。

中長期的目標

- 総合学科として充実したキャリア教育と多様な選択授業を行うことにより、生徒が自らの進路を切り拓き、それを実現できるよう支援する。
- 地域総合高校として、地域の期待にこたえる人材の育成を目指す。
 - ・「一人ひとりの生徒の力を伸ばし丁寧に育てる面倒見の良い教育」の実現にむけ、教育諸活動の充実を図る。
 - ・地域に開かれ信頼される学校づくりに努める。

平成27年度 重点目標

項目	評価の観点	具体的な教育活動 (担当:略称)	評価の材料・基準
1 安全安心な 学校の保証 【いじめ・ 体罰ゼロ】	1 他者を尊重する人権教育を推進することができたか。 2 生徒の人権を尊重し、いじめ、暴力や暴言による体罰を学校から根絶させることができたか。 3 学校生活や登下校において安心と安全が確保できたか。 4 生徒の日常生活を把握し、基本的な生活習慣の確立を促し校則を遵守させ、落ち着いた学校生活を送らせる指導ができたか。	1 ・ あいさつ運動や教室の整頓の活動で、学習環境や他者を尊重する環境を整える。(学年・生徒会)①④ ・ 「いじめ」をテーマにした講話を実施し、人権教育を推進する。(人権)③ 2 ・ 日常の細かな生徒観察によって、暴力・暴言・いじめを根絶する。(学年・生指・生徒相談)②④ ・ 相談窓口を生徒に周知し、教員による体罰やセクハラを生徒が訴えやすい環境を整える。(生徒相談)②④ 3 ・ 校内巡視記録を用いて、校舎内外の環境点検を定期的に行う。(保健)④ ・ 生徒会・職員による交通安全立ち番を実施し、交通ルールを順守する態度を育成する。(生徒会・生指)① ・ 校内及び通学路の危険箇所を点検し、生徒に周知徹底する。(生指)①② ・ 「オクレンジャーンシステム」を活用し、生徒・保護者に対して危機管理に関する情報発信を行う。(渉外・教務)① 4 ・ 保護者との連絡を密にし、生徒の動静を掌握する。(担任・生指・教務)⑤ ・ 出席状況や授業の様子の連絡を授業担当者と取り合う(学年)⑤ ・ 制服規定、授業規律の徹底をはかる。(生指・学年)⑥ ・ 「規律ある学校生活を送るための心得」を周知徹底させる(生指・学年)⑥ ・ SST等を利用し、社会人になるのに必要なマナーを身につけさせるために取り組む。(学年)⑦	①アンケート(生徒・保護者・職員) ②いじめ等定期観察(生指・学年) ③人権講話の感想アンケート(人権) ④校内環境巡視記録 ⑤欠課連絡板・成績会議欠課データ ⑥生活指導の記録 ⑦学年の評価
2 きめ細かい 進路指導	5 生徒が自己の適性を見極め、職業観が形成できるよう指導できたか。 6 生徒がキャリア教育の一環として、学校外の事業へ積極的に参加できたか。 7 進路希望に応じて生徒に有効な情報を提供し、きめ細やかな指導ができたか。 8 各種模試・検定・資格取得に取り組む工夫ができたか。	5 ・ 各事業所や産振と連携し、「総合的な学習の時間」を有機的に実践する。(学年・進路・総推)① ・ 「産社」で外部講師による講演や職業研究を行い職業に関する視野を広げる。(1学年・総推)① ・ 全生徒を就業体験に参加させ、職業観を醸成する。(2学年・総推)① ・ 進路意識調査を定期的実施し、主体的な進路選択への情報提供と指導を行う。(進路)④⑤⑥ 6 ・ 「産社」、職場見学を通して、自己の将来や職業に対する考えを深めさせる。(1学年・総推・進路)①④⑦ ・ 「インターンシップ」「ざくだけせ修行」について、事前準備・体験・事後報告を指導する。(2学年・総推・進路)④⑦ ・ 教職員の企業訪問研修を企画し実施する。(進路・総推)① 7 ・ 進路実現に向けた、補習等の計画と実施。(学年・進路)①③④ ・ 学年と連携し「進路講話」を実施、また進路面談により進路選択の情報を提供する。(進路)①③④ ・ 進学指導に際して「進路検討会」を実施し、情報を共有し効果的な指導を行う。(進路・学年)①③ 8 ・ 学年アアップにつながる資格取得の指導、及び講習会を実施する。(総推・教科)② ・ 漢字検定3級以上の全員取得を目指す。(2学年)②	①アンケート(生徒・保護者・職員) ②検定資格試験結果まとめ(総合) ③模試分析(進路) ④進路希望調査 ⑤就職内定状況 ⑥進学可否結果 ⑦学校評議員による評価
3 授業力の向上 【わかる授業 学力のつく授業 魅力的な授業】	9 わかりやすい授業の実施と研究ができたか。 10 基礎学力養成の機会を設定し、的確な指導ができたか。	9 ・ 個々の生徒の発達を把握し、基礎学力と探究的学力を伸ばす授業を実践する。(教科・学年)②③⑤ ・ 「授業研究月間」等を通して、教員相互に授業を公開し指導法向上に励む。(教務)⑤ ・ 匿名性を担保した授業評価の結果を授業改善に生かす。(授業者)⑦ 10 ・ 特別講座を実施し、基礎学力の定着をはかる。(学年・教務)②③⑥ ・ 「学び直し」を工夫し、高校での学習の基礎となる学力を全員につけさせる。(1年・2年)②④⑥	①アンケート(生徒・職員) ②定期考査 ③学力調査(定点観測模試) ④シラバスの確認 ⑤生徒授業アンケート ⑥特別講座小テスト ⑦匿名性を担保した授業評価
4 生徒の主体的 活動の支援 【学習 部活動 生徒会等】	11 総合学科の特色となる科目を通して、生徒が自ら課題を発見して解決する力を身につけることができたか。 12 生徒が自主的に家庭学習を行う習慣を身につけることができたか。 13 生徒が生き生きと目的をもって、課外活動に取り組める指導や支援を行えたか。	11 ・ 1年次から段階的かつ継続的に指導を行い、3年次の「総合研究発表」で3年間の成果が表れるように、組織的・計画的に指導を行う。(総合学科・学年)①② 12 ・ 各教科による家庭学習課題や週末課題によって、家庭学習の習慣化を促す。(学年・教科)① ・ 特別講座の学習をとおして、家庭学習を行うきっかけと学習習慣の定着を促す。(学年・教務)⑤ ・ 学習時間調査を実施し、学習習慣の確認と意識付けを行う。(教務・学年)⑤ 13 ・ 放課後や休日の課外活動指導を充実させるとともに、顧問及び担任との連携を強化し、生徒の活動支援体制を高める。(生徒会・クラブ顧問会・学年)①④	①アンケート(生徒・職員) ②総合研究発表会評価 ③生徒授業アンケート ④各種大会成績 ⑤特別講座小テスト ⑥学習時間調査
5 地域と共に 歩む学校	14 公開授業の参加者を増やす工夫ができたか。 15 保護者・地域へ情報を発信し、本校の理解に努めたか。 16 PTA・同窓会・地域と連携した活動ができたか。	14 ・ HP・蘇南通信・広報なぎそ等で、地域に適切な情報発信をする。(教務・渉外・生徒会)②⑤ ・ 学年通信やメールで情報を発信し、懇談会で要望や地域の意見を掌握する(生指・学年)①②⑤ 15 ・ 健康管理についての情報を通信で発行する。(保健)④ ・ 中学校訪問、体験入学を通して本校の教育活動を発信し生徒募集につなげる。(総推)①③ ・ 「総合研究発表会」「産社発表会」を地域にPR・発信し多くの方に見てもらふ。(総推)①③ ・ 「オクレンジャーンシステム」を活用し、保護者に適切な情報発信を行う。(渉外・教務)① 16 ・ PTA・産振・学校評議員会等に進路実績・指導内容を報告し、開かれた進路指導を実践する。(進路)②③ ・ 保護者への図書貸し出しを行い地域に開かれた学校に資する。(図書視聴覚)①② ・ 祭礼巡視などPTA活動によって、PTA・地域と連携して生徒を指導する。(生指・PTA)①③ ・ 風紀・清美委員会の校外活動によって、地域社会に貢献する蘇南高校を目指す。(生指・生徒会)② ・ 「産社」及び各教科の授業に地元講師を招聘する。(総推)①② ・ 地域と協同し「販売実習」を行う。(総推・商業)①② ・ 「パソコン教室」を開催し地元小学生と生徒との交流をもつ。(教務・商業)①②③ ・ 「合同部活」「夏期特別講座」を開催し、地元中学生との交流をもつ。(教務)①②③ ・ 「陶芸教室」を開催し、地域に開かれた学校に資する。(美術科)①②③ ・ 蘇峡祭への参加者を増やせるように、保護者地域への広報活動を行う。(生徒会)①②	①アンケート(生徒・保護者・職員) ②学校評議員による学校評価 ③小中高連携係会の評価 ④げんき通信(保健室からの通信) ⑤匿名性を担保した学校評価